

◆ 『ゆとりと活力・調和のとれた「幸田」のまちづくり』 ◆

幸田町

町政レポート

さこう弘康

2016年 4月 No.36

発行：さこう弘康 後援会

〒444-0193 額田郡幸田町大字芦谷字丸山5 TEL 0564-56-7727 FAX 0564-56-7918

議会報告 3月定例会 報告

平成28年3月定例会は、3月2日に開会し、28日までの会期で開催。単行議案16件、当初予算関係9件など、計30件が上程され、いずれも原案通り可決しました。今議会は、新年度の当初予算案を審議をする重要な議会です。住民目線、納税者の立場で税金の使われ方や事業のあり方を質しました。



幸田町議会議員 酒向 弘康

当初予算の概要

過去2番目の大型予算！ 税収の伸び鈍化傾向！



人口増を受け 子育て環境整備に重点

幸田町 平成28年度 当初予算案

	予算額	増減
一般会計	142億6,000万円	+3.4%
特別会計	76億4,642万円	+5.0%
水道会計	13億5,507万円	-5.9%
総額	232億6,149万円	+3.3%

※【一般会計】

福祉や教育、防災・防犯など町行政運営の基本的な経費を計上した会計

※【特別会計】

国民健康保険・介護保険、下水道など特定の事業を行う独立した会計

全体

平成28年度 一般会計予算案は人口増加を受け、子育て環境の整備に関する費用や教育費を重点に、前年度比3.4%増の142億6,000万円と過去二番目に大きい予算案となっている。

歳入

町税が全体で前年度比2.6%減の82億6,000万円を見込む。町税の1割を占める法人町民税は、一部国税化の影響で前年度比29.8%減の9億円。個人町民税は、転入者の増加により前年度より1億2,000万円増え、25億2,000万円を見込んでいる。なお、貯金にあたる基金13億6,000万円を取り崩すほか、町債も2億9,000万円を発行、歳出増加を補う予算。

歳出

児童数が急増する幸田小学校の校舎増築などの教育費が27.0%増の24億3,000万円。認定こども園の整備事業や岡崎市と共同で費用負担する大学病院の整備積立金も計上。

平成28年度当初予算 一般会計予算 (主なもの)

新規事業
45事業
14億4,000万円
= 11
キーワード
・未来
・子育て
・教育

=主な新規事業=

- ・幸田小学校舎増築・・・5億9,410万円
- ・認定こども園整備・・・2億3,231万円
- ・医療施設等整備基金積立・・・6,000万円
- ・新規児童館準備関係・・・4,398万円
- ・老人福祉センターバリアフリー工事・・・1,376万円
- ・小学校給食用食器購入・・・1,014万円
- ・その他 豊坂・深溝第2児童クラブ開設、準備など



**新規事業
実現!**

「ふるさと寄付事業 スタート！」

平成28年4月から、幸田町も「ふるさと寄付金制度」の導入を決定しました。私は、過去2度にわたって、一般質問で早期導入で「産業振興と町のPRを」と提起したことが「実現」しました。

平成27年
3月議会

平成26年
3月議会

問 「ふるさと納税」で産業活性化を早急にスタートできるよ

答 早急にスタートできるよ

本町では、全品一斉誘導...
[答] 「ふるさと納税」に関する寄付の状況は、平成23年度以降、町外からの寄付はない。町外からの寄付は平成26年度、106人で700万円である。
[答] 寄付金のお礼の気持ちのあつた方と手続きの改善の進捗状況は、答広報紙とホームページを定める準備をした。また

インターネット申請を可能にしたが、ともに実績はなし。
[答] 「ふるさと納税」をアピールするため、町内企業との連携を強化し、制度を最大限に活用し、早急にスタートできるように検討していく。

のキツカづくりに繋がる。制度の積極的活用を「町民」かつくりの町企業との連携をしながら、制度を最大限に活用し、早急にスタートできるように検討していく。

日本一の箱柿を全国へ

問 「ふるさと納税」の活用を前向きに検討する

答 前向きに検討する

制度導入から5年が経過した。現状と今後のあり方を問う。
[問] 町外からの寄付、本町在住の方町外へ寄付されている件数と金額は、総務課へ「ふるさと納税」の状況は、表のとおり。
[答] 町外からの寄付、本町在住の方町外へ寄付されている件数と金額は、総務課へ「ふるさと納税」の状況は、表のとおり。
[問] 本町へ寄付されている方への対応は、答ふるさと寄付金受領証と納税の状況を送付する。答「ふるさと納税」の送付を町民への感謝を促す。答「ふるさと納税」の送付を町民への感謝を促す。
[問] 「ふるさと納税」の送付を町民への感謝を促す。
[答] 「ふるさと納税」の送付を町民への感謝を促す。

年	町外から	町外へ
平成21年	3件 14万円	
平成22年	2件 301万円	
平成23年	なし	168件 1587万円
平成24年	なし	36件 349万円
平成25年	なし	36件 224万円

つどい作業所で花づくり

ふるさと寄付に返礼品を用意する自治体は8割を超え、返礼品の多様化が進む。自治体の歳入増のほか、地域の知名度向上、返礼品となる特産品の消費拡大などの利点を最大限に生かすべきだ。

さこう 3月議会 「発言」 一部抜粋

「ふるさと納税」を魅力ある制度に！



- Q1: 「ふるさと寄付」事業は、4月中にスタートするが、返礼品は幸田の特産物や、町内に工場がある会社の製品ということだが、どんなものか?
A1: 特産品の「箱柿、梨、桃、マットレス、焼酎」等30品目でスタートする。
- Q2: 今回は、返礼品の対象は、町民以外の方ということだが、その考えと、町民からの寄付にも何らかの気持ちを表していくべきだ。
A2: 本来の「ふるさとを思う」寄付者にとの考え。町民向けは今後検討。

「凶暴 野生ザル」から住民を守る対策を！



町の注意チラシ

Q1: 鳥獣被害として、私の地域の里区にも、野性のサルが、頻繁に出没。住民を威嚇、また犬を襲ったり、野良猫が犠牲になっている。乳幼児への被害も懸念されるが、町の対策は？

A1: 警察、役場、猟友会で追い払い活動展開継続中。農地には、ワナによる捕獲をする対策を強化する。

Q2: 野生ザルの対処法は、チラシや町のHPにあるが、住民からは「サルの出没情報」をメールなどで提供してほしいという声があるが、対応は？

A2: 「タウンメール」で情報配信と町のホームページでは、直近の出没情報を掲載の配信を開始しました。

注意！野生ザル威嚇してきます「目を合わせない」通報を！



さらなる効果的な「地域の防犯対策」を！

Q1: 防犯カメラと防犯灯は、地域の声を反映してバランスの良い設置をしているか？

A1: 警察と協議して設置している。(参考: 学区別設置状況)

Q2: 防犯カメラを取り付けた効果の事例は？

A2: 自転車盗件数が、H25年58件が、H26年20件・H27年22件と半減した。



Q3: 新年度予算のそれぞれ新規の設置計画台数は？

A3: 防犯カメラ5基(265万円)・防犯灯55基(192.5万円)設置は、地域と警察と調整し、効果的設置をすすめる。

学区	防犯カメラ設置数	防犯灯設置数
坂崎小	4基	462灯
幸田小	74基	906灯
中央小	6基	534灯
荻谷小	12基	534灯
深溝小	9基	759灯
豊坂小	10基	714灯
計	115基	3909灯

「引き続き、住民目線で行政の取り組みのチェックに努めます！」

3月議会にて 国に対し 意見書を提出



「国の税制改正に
嚴重抗議！」

＝議員提出議案＝

3月2日、3月議会初日に「地方法人課税の見直しについて必要な対策を求める意見書」が提出され、全会一致で可決されました。これは法人町民税の一部国税化の影響で町税収減になるため国に対策を求めるもの。

＝幸田町 4億600万円減の影響＝

2016年度税制改正の影響で、企業からの税収が多い愛知県内の7市町村は、自前の財源でまかなえる「不交付団体」。こうした国が裕福とみなす自治体と、税収が少ない自治体間の格差が拡大するとして、法人住民税から国が徴収(国税化)する割合を増やし、財政が厳しい自治体に回すというもの。

地方法人課税の見直しについて必要な対策を求める意見書(案)

市町村が、少子高齢化社会への対応、防災対策、社会インフラの老朽化対策等の様々な課題に取り組む中、分権型社会の実現に向け、自主的かつ自律的な財政運営を行っていくためには、地方自主財源の拡充が必要であり、地方税は地方自主財源の根幹となるものである。

法人住民税の国税化により、これを自治体間の税源の偏在是正の財源とすることは、地方自主財源の拡充を図り、地方分権改革に繋げていくという流れに逆行するものであり、かつ、地方の財源不足という根本的な問題解決にはならない。

このような状況下において、今回の平成28年度税制改正案では、法人住民税法人税割増について、国税化の割合が拡充されており、極めて遺憾である。

また、本町では法人町民税の国税化による税収減が、新たに創設される法人事業税交付金及び地方消費税等の引上げによる増収分を上回り、結果として減収となる見込みであり、財政運営上、これまでの住民サービスに多大なる影響を及ぼす恐れがある。

こうした見直しについて、市町村の意見を十分に踏まえることなく、国が一方だけに行おうとしていることは極めて遺憾である。

よって、国及び政府においては、地方法人課税の見直しについて、市町村の実態を十分に把握したうえで、全ての市町村の財政運営等に悪影響が生じないように、必要な対策を講じることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月2日

愛知県額田郡幸田町議会

＝トピックス＝

町内の防犯灯すべて LED化 完了！

町内の防犯灯をLED化することで、明るく安全安心なまちづくり推進に寄与し、防犯灯の維持管理費用の軽減や環境への負荷の軽減につながる防犯灯3909基すべてLED化取り換え工事を2月半ばに完了しました。
今後とも夜間暗い道路等があれば「声」をあげてください。

LEDの効果
・省電力の効果
620万円の節約
・寿命延長
5～7倍向上

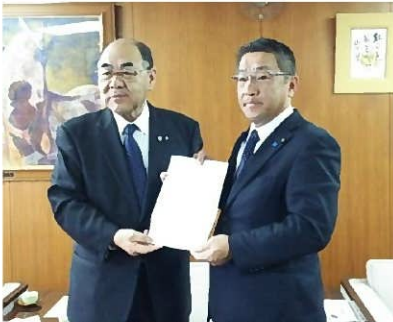


平成28年2月4日 人口40,000人 達成！

人口増加の要因はJRの駅が3駅あり、通勤通学などに便利なこと、工場誘致が進み（雇用が安定）昭和45年人口2万人、平成2年3万人、今年4万人を達成。今後、2040年まで人口増加する見通し。町として2055年に5万人に達するとの人口ビジョンを描いています。全国的に少子化が進む中、人口が着実に増えることは、喜ばしいことだが、先を見据えた生活インフラ整備、子育て・福祉対策などの施策推進が必要。

今後、ゆとりと活力・調和のとれた『まちづくり』に向けて、人口増と同時に進行していく「高齡化対応」に取り組んでいく！

「活動報告」



大須賀町長から回答書

昨年の9月、働くものの代表として幸田町大須賀町長に提出した「要望書」に対し、3月29日町長室にて新年度予算への反映報告を受けました。その後、連合愛知中地協役員と人口増加に対する施策、産業振興や今後の町政運営など有意義な意見交換をしました。



中地協役員と懇談

「くらしの相談室」

地域での困りごと、町政に対するご意見・ご要望等、お気軽に「さこう弘康くらしの相談室」をご利用ください。

連絡先（事務所）Tel：0564-56-7727 Fax：0564-56-7918

ホームページは「さこう弘康」で検索してください。



さこう弘康

検索

メールからでもどうぞ！



※お願い：町政レポート配布するにあたり、氏名や住所の間違い、変更がありましたら上記までご連絡ください。